

平成25年3月期決算説明会

株式会社アジュバンコスメジャパン
平成25年4月19日

- I. 当社の企業理念・ビジネスモデル
- II. 平成25年3月期業績概要
- III. 平成26年3月期業績見通しと今後の戦略
- IV. 株主還元策
- V. 参考情報 ～会社概要～

I. 当社の企業理念・ビジネスモデル

企業理念と経営目標

企業理念

知恵 勇気
夢と感動を与える

経営目標

より良い商品の開発・提供により社会貢献を図る
サロン経営への貢献

ADJUVANT

TRIPLE
WIN

CUSTOMER

SALON

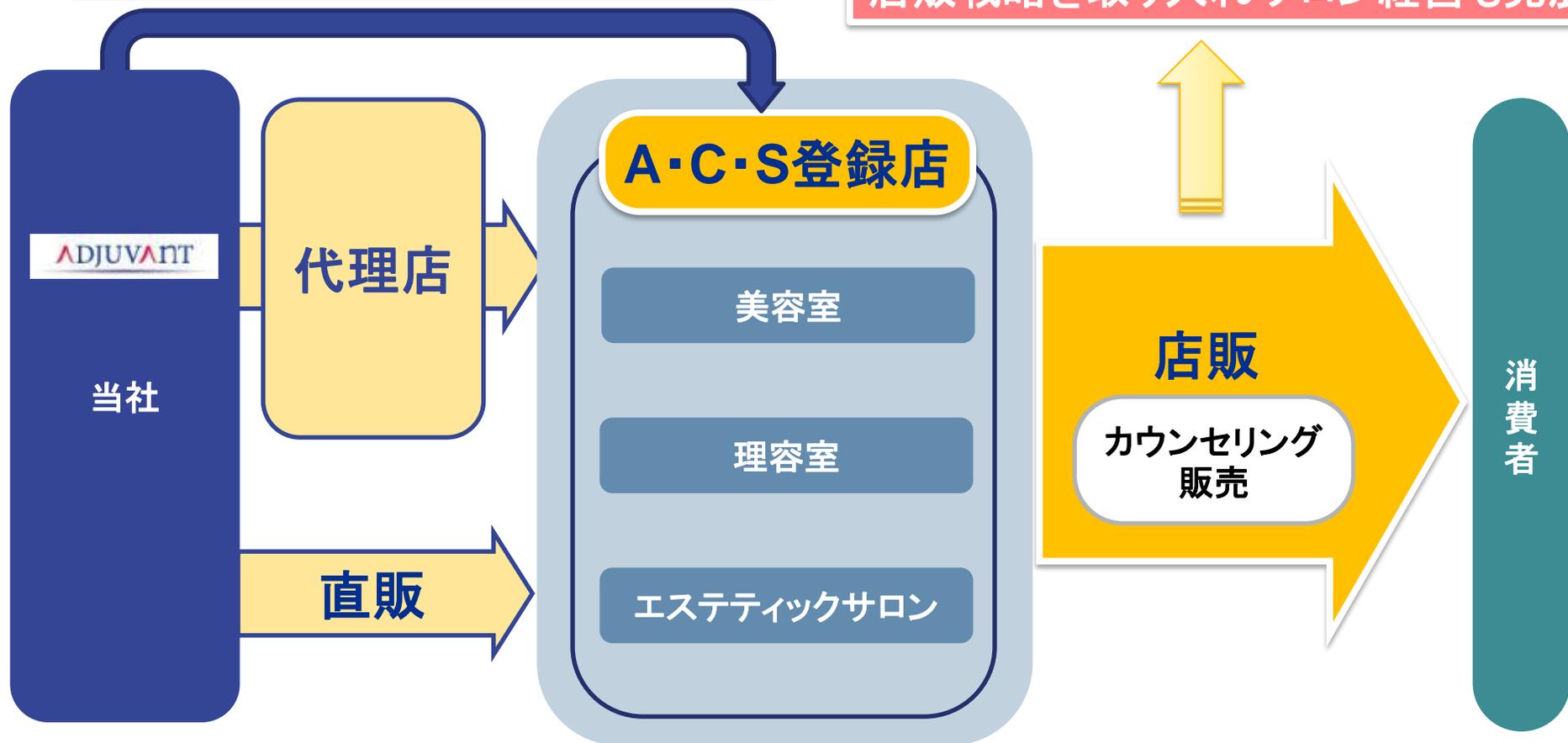


ビジネスモデル

サロンを通じ一般消費者向けの化粧品を提供するファブレス企業

営業担当者インストラクターによる
カウンセリング、販売指導とMAPによる支援

店販戦略を取り入れサロン経営も発展



※ (注)A・C・S登録店とは、ADJUVANT CHAIN SALON SYSTEMの略

特徴と強み

1. 創業時から一貫して自然派

- 20年にわたり、「糖」と「ミネラル」にこだわり、肌・髪のトラブルの原因になるものを排除する研究・開発を行っております。健やかで美しい「肌」「髪」を育む商品づくりを目指しています。

2. こだわり続けるカウンセリング販売

- サロンに来店される美に関心の高い顧客に、時間をかけてしっかりとカウンセリングします。そのため、カウンセリングの出来ない通販、量販店では、販売いたしません。

「ノンオイル、ノンアルコール」「糖、ミネラル」にこだわり、健やかで美しい「肌」「髪」をサポートする安心、安全な化粧品を開発を目指し、サロン向けに販売

創業時から変わらない
安心・安全へのこだわり



消費者の
ナチュラル
志向の高まり

アレルギー
疾患等への
罹患人口が
増加傾向



時代のニーズとマッチング

Ⅱ. 平成25年3月期業績概要

【増収増益】 リニューアルしたヘアケアが好調に推移

売上 増収 7.8% (2.3%)

- スキンケアは、男性用商品Q&Nシリーズの発売、基礎シリーズのAEシリーズ5品が2012年度モンドセレクション金賞を受賞するが、販促キャンペーンの活動が遅れ計画未達
- ヘアケアは、Re: >>>シリーズリニューアルが好調に推移したことにより伸長

経常利益 増益 3.2% (11.2%)

- 売上増加に対する利益増
- 人件費等の増加と各種経費の削減
- 生命保険見直し(解約)による営業外収益の発生

当期利益 増益 93.0% (11.1%)

- 税引前利益の増加による増加

前年同期比較(カッコ内は計画対比)

平成25年3月期 損益計算書ハイライト(連結)

(単位:百万円)	平成24年3月期		平成25年3月期				前期比		計画比	
	実績	構成比	計画	構成比	実績	構成比	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	4,144	100.0	4,366	100.0	4,468	100.0	323	7.8%	102	2.3%
売上原価	1,410	34.0	1,541	35.3	1,592	35.6	182	13.0%	51	3.4%
売上総利益	2,734	66.0	2,824	64.7	2,875	64.4	140	5.2%	51	1.8%
販管費	1,795	43.3	1,896	43.5	1,887	42.3	91	5.1%	▲8	▲0.5%
営業利益	938	22.7	927	21.2	988	22.1	49	5.3%	61	6.7%
経常利益	945	22.8	870	19.9	975	21.8	29	3.2%	105	12.1%
当期利益	276	6.7	480	11.0	533	11.9	257	93.0%	53	11.1%

概況

- Re: >>>シリーズリニューアルに伴う旧版の廃棄により原価率がアップ
- 全国イベントの開催、人件費増加等による販管費の増加
- 営業外費用に上場関連費用として45百万円計上
- 法人税等の減少により大幅な増益

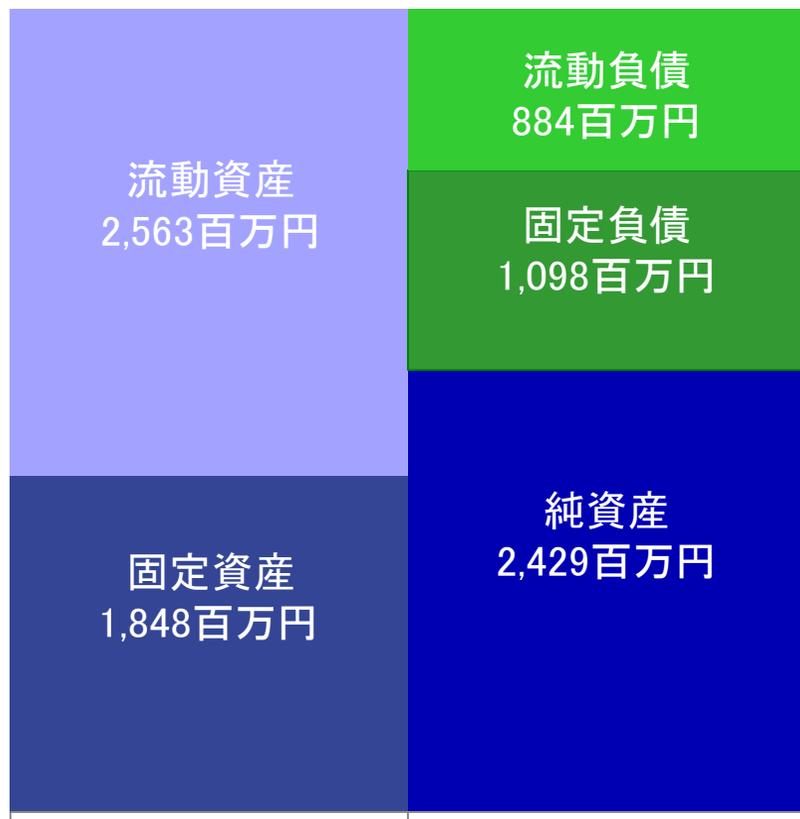
商品群別売上実績

(単位:百万円)	平成24年3月期		平成25年3月期				前期比		計画比	
	実績	構成比	計画	構成比	実績	構成比	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	4,144	100.0	4,366	100.0	4,468	100.0	323	7.8%	102	2.3%
スキンケア	2,187	52.8	2,301	52.7	2,068	46.3	▲119	▲5.5%	▲233	▲10.2%
AE	1,559	37.6	1,641	37.6	1,431	32.0	▲127	▲8.2%	▲209	▲12.8%
ベーシック	95	2.3	98	2.3	96	2.2	1	1.2%	▲2	▲2.3%
メイク	533	12.9	561	12.8	539	12.1	6	1.2%	▲21	▲3.8%
ヘアケア	2,136	51.5	2,235	51.2	2,601	58.2	464	21.7%	365	16.3%
シャンプー・トリートメント等	1,937	46.7	2,029	46.5	2,392	53.5	455	23.5%	363	17.9%
スタイリング等	199	4.8	206	4.7	208	4.7	9	4.8%	1	0.9%
その他	141	3.4	152	3.5	148	3.3	6	4.7%	▲3	▲2.4%
売上割戻金	▲321	▲7.7	▲324	▲7.4	▲349	▲7.8	▲28	—	▲25	—

連結貸借対照表

平成24年3月期末総資産 4,412百万円

平成25年3月期末総資産 5,627百万円



概況

- 株式の発行、長期借入金返済により、純資産(流動資産)の増加、固定負債の減少

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	平成24年3月期実績	平成25年3月期実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	333	600
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲416	▲208
財務活動によるキャッシュ・フロー	121	581
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	9
現金及び同等物の増減	41	982
現金及び同等物の期首残高	1,431	1,472
現金及び同等物の期末残高	1,472	2,455

概況

- 税引前当期純利益975百万円及び法人税等の支払等により、営業C・Fは600百万円の収入
- 定期預金の預け入れに等より、投資活動によるC・Fは208百万円の支出
- 長期借入金の返済及び株式の発行により、財務活動によるC・Fは581百万円の収入

Ⅲ. 平成26年3月期業績見通しと今後の戦略

【微増収微増益】 当期は成長に向けた踊り場の年

スキンケア 前期比3.3%増加

- 前期はヘアケアリニューアル販促キャンペーンに注力しすぎたことにより、スキンケアの売上機会を失くした。当期はバランスを整え販促キャンペーンを行い、売上機会をつくる。

ヘアケア 前期比2.8%増加

- 引き続きRe: >>>シリーズの販促キャンペーンにより堅調に推移。

営業利益 前期比1.0%増加

- 商品廃棄のない当期の粗利率は回復するが、増員および株式会社ファインケメティックスとの業務提携による美容室向け業務用商品の共同研究開発、製造準備へ注力するため、販管費が増加。

平成26年3月期 損益計算書ハイライト(連結)

(単位:百万円)	平成25年3月期		平成26年3月期		前期比	
	実績	構成比	計画	構成比	増減額	増減率
売上高	4,468	100.0	4,594	100.0	125	2.8%
売上原価	1,592	35.6	1,562	34.0	▲30	▲1.9%
売上総利益	2,875	64.4	3,032	66.0	156	5.4%
販管費	1,887	42.3	2,032	44.2	144	7.7%
営業利益	988	22.1	999	21.8	10	1.0%
経常利益	975	21.8	994	21.6	18	2.0%
当期利益	533	11.9	564	12.3	30	5.8%

概況

- 販管費等の増加により税引前当期純利益までは、微増になるが、税率の変更により当期純利益は前年同期比5.8%の増益

商品群別売上計画

(単位:百万円)	平成25年3月期		平成26年3月期		前期比	
	実績	構成比	計画	構成比	増減額	増減率
売上高	4,468	100.0	4,594	100.0	125	2.8%
スキンケア	2,068	46.3	2,136	46.5	68	3.3%
AE	1,431	32.0	1,493	32.5	62	4.3%
ベーシック	96	2.2	83	1.8	▲13	▲14.0%
メイク	539	12.1	559	12.2	19	3.6%
ヘアケア	2,601	58.2	2,675	58.2	74	2.9%
シャンプー・トリートメント等	2,392	53.5	2,454	53.4	62	2.6%
スタイリング等	208	4.7	220	4.8	11	5.7%
その他	148	3.3	152	3.3	4	2.8%
売上割戻金	▲349	▲7.8	▲370	▲8.0	▲20	—

平成26年3月期を踊り場の年にした今後の戦略

Step by Step

既存顧客の売上を拡大する

- 比較的スイッチングコストの低いヘアケア商品から当社固定ファンへと誘導し、スキンケアへと、ロイヤルユーザーを増強し売上拡大へとつなげる。

既存市場と新規市場

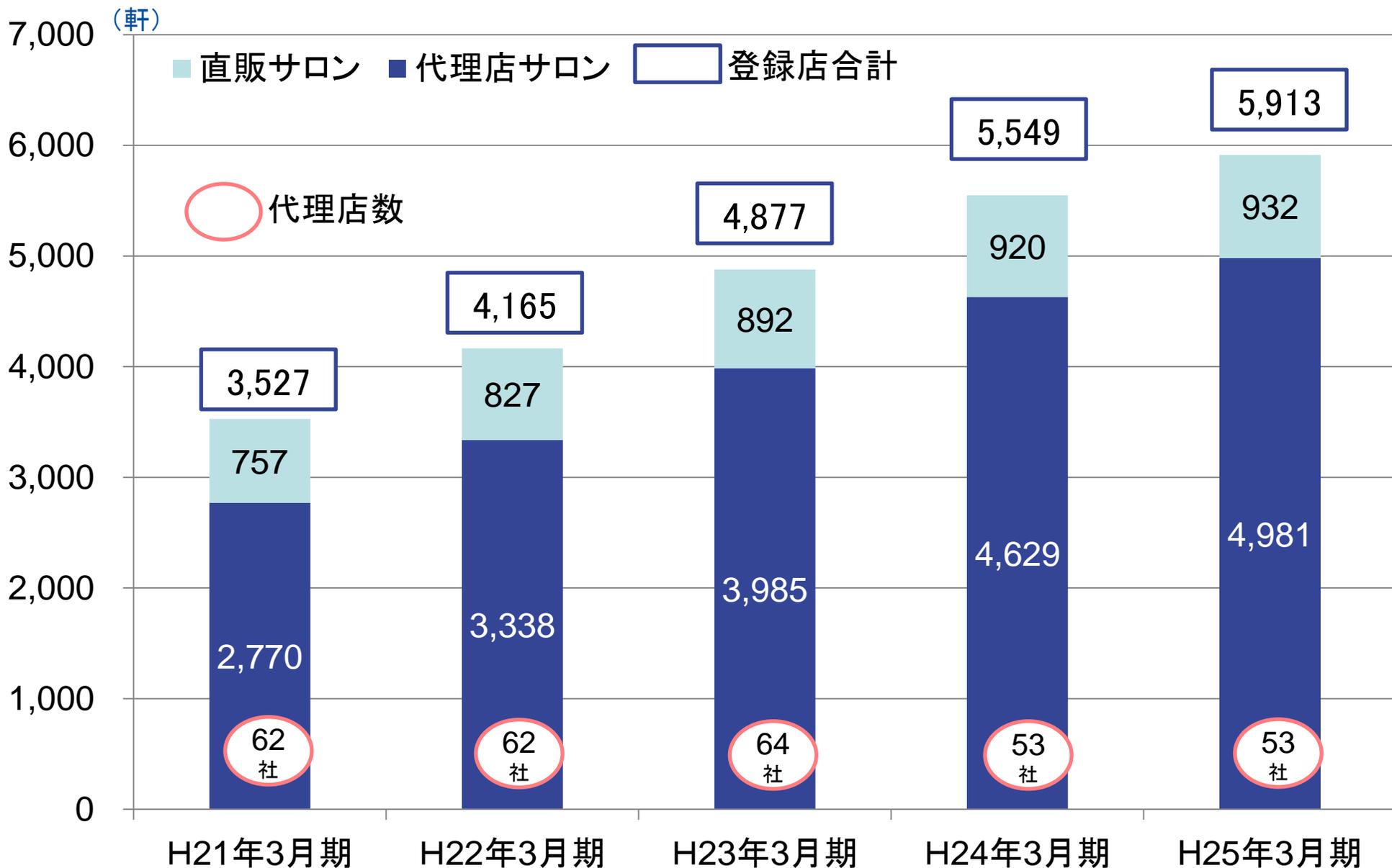
A・C・Sサロンの拡大と海外進出

- 日本国内における開拓深耕。
- 香港を拠点に中国エリアの参入のための1号店出店準備

業務用への参入

- これまでの店販商品に加え、美容室向け商品への参入により、新たなチャネルでの売上をつくる。今期はそのための準備期間。

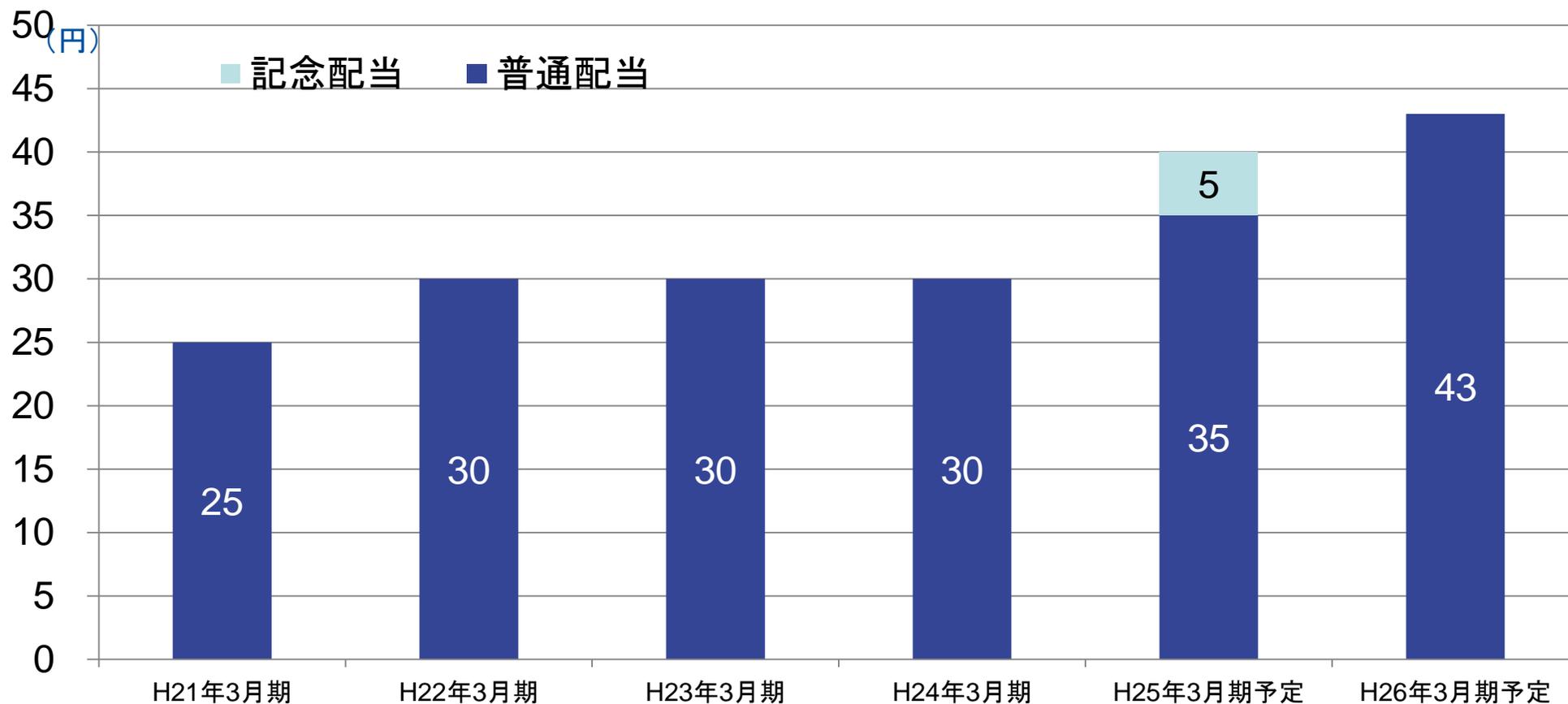
国内未開拓エリアの開拓による登録店の拡大



IV. 株主還元策

株主還元策

配当金の推移(1株当たり) ~安定的な配当を継続して実施していく方針~



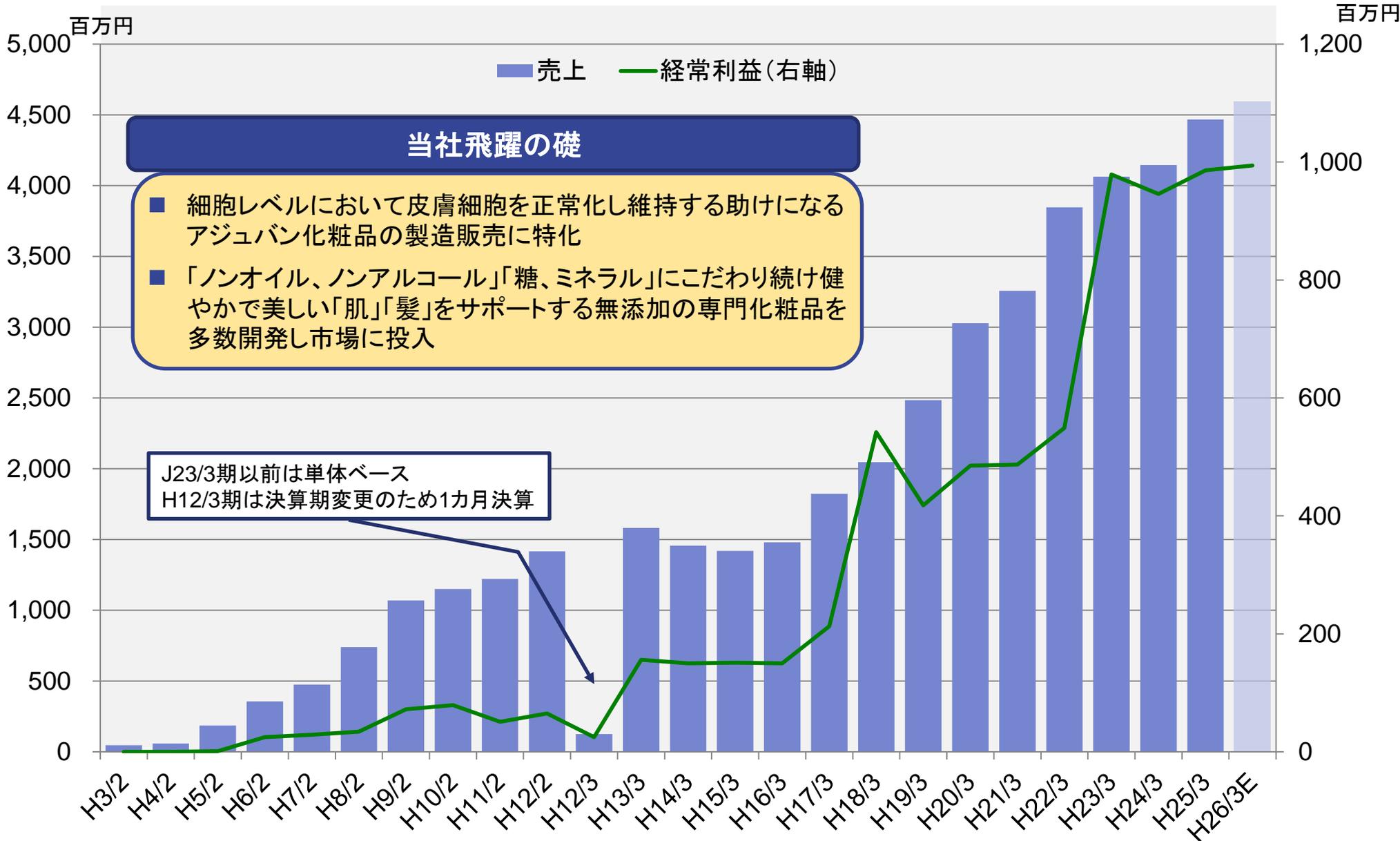
(注) H24年6月15日付で普通株式1株を3株に分割をしております。

V.参考情報～会社概要～

会社概要

- 事業内容 美容室・理容室・エステティックサロン向け化粧品の商品企画、研究開発、販売
- 設立 平成2年4月10日
- 本社 神戸市中央区下山手通5丁目5番5号
- 代表者 代表取締役社長 中村 豊
- 資本金 657百万円（平成25年3月20日現在）
- 売上高 4,468百万円（平成25年3月期）
- 従業員数 110名（平成25年3月20日現在）

売上高 経常利益推移





本資料ならびにIR関係のお問合せにつきましては、
下記までお願いいたします。

株式会社アジュバンコスメジャパン 総務部 IR課

TEL:078-351-3136

FAX:078-351-3108

本資料は、株式会社アジュバンコスメジャパン(以下、弊社)の現状を理解していただくために作成したものです。

本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。